

Q & A

問題解決!



南部営農センター
園芸課
検校 哲也

Q1 せっかく実った果物や野菜がカラスに食べられてしまいます。退治する方法はありませんか。

A1 カラスに限らず、全ての野生鳥獣は、鳥獣保護法により、許可なく捕獲したり処分したりすることは禁じられています。うるさい、迷惑だからといって、捕まえることはできません。追い払うしかありません。

よく、カラスを追い払うために、CDなどきらきら光るものを吊るしたり、カラスの死骸に似せた鳥よけグッズを吊るしてあるのを見ます。初めは近づきませんが、慣れてしまうと、またやってきます。鳥よけグッズは、長期間の持続的な効果は期待できません。果物など加害される期間限定の対策となるでしょう。

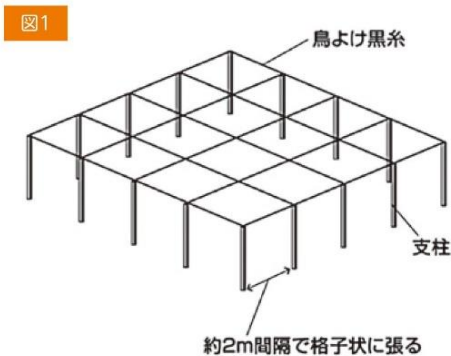
完全シャットアウトするなら、防鳥網ですっぽり覆うこととなりますが、お金と手間

はかかります。

安価で簡単に設置できる侵入防止策として、見えづらいテグスを張る方法があります。翼に不意に触るのをカラスは嫌います。

テグスは、黒色がお勧めです。一般的なテグスは光って見えやすいのですが、黒だと見えづらく、気づかないまま近づいて、羽がテグスに触ってびつくりして侵入しません。

張る間隔は、カラスが翼を広げた1mが最適ですが、2mでも効果があります。(図1)



また、歩いて侵入するのを防ぐため、高さ25cmほどに横糸を張り巡らせます。(写真1)



写真1

スイカなどでは、食べられないように一個一個出荷コンテナで隠しておく手もあります。(写真2)



写真2

防鳥にはなりません。スイカに陽が当たらないので、しま模様様が薄くなって、見栄えは悪くなります。味に変わりはありません。

なお、電柱にカラスの巣を発見した場合は、中部電力まで連絡してください。

Q2 キウイフルーツに鉛筆くらの穴が空いていて、ミツバチみたいな抜け殻が落ちていました。これは？

A2 スカシバです。ちょっと見、すずめ蜂に似てます。(写真3)

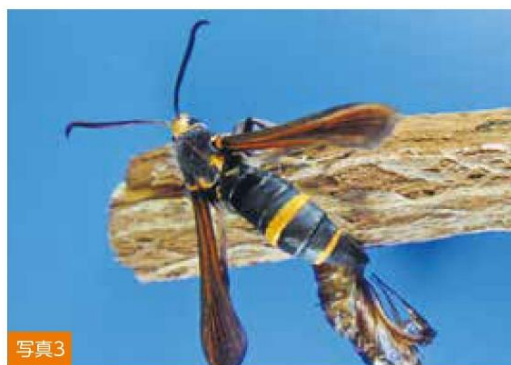


写真3

ブドウによく付く虫です。幼虫が幹や枝の粗皮の下部分を食害します。同じ穴に翌年も卵を産んで、まとまって幼虫が食害したりします。虫の糞(写真4)を探して、粗皮を剥いで幼虫を見つけ、

捕殺します。スカシバに限らずカミキリなども粗皮の内側にいます。樹が休眠している冬の間に粗皮を剥ぐことで、害虫が越冬するのを防げます。



写真4

オンライン
農業塾は
こちら

動画はコチラ



管内の
病害虫
情報は
こちら



家庭菜園
情報は
こちら

